

令和7年度 学力向上のための重点プラン【小学校】 新宿区立富久小学校

■ 学校の共通目標

【H P 公開用・様式1・令和7年4月22日】

授業作り	重 点	・デジタル教材や学びのツールを効果的に活用し、課題解決を進める。
環境作り		・主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、探究的な課題、協働的な学習に取り組む。 ・一人ひとりの考えが尊重され、学び合える学習環境づくりを進め、各教科、領域で対話的な学びを実践する。

■ 学年の取組について

学 年	学習状況の分析 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子から)	目標達成のための取組
1 学 年		- 平仮名、片仮名の字形を整えて書くことや、促音、拗音を正しく使って言葉を書くことができるようにする。 - 相手を意識して自分の考えを表現できるようにするとともに、相手の伝えたいことを落とさずに聞くことができるようにしていく。 - 算数では、数の合成・分解、20までの数のたし算、ひき算が正しくできるようにする。 - 漢字を正しく書けるように定着を図る。	①プリントを活用し、文字の練習をする。 ②話し方、聞き方を例示し、話し合い活動が十分に行われるようにする。 ③デジタル教材や具体物を活用し、数の多面的な見方を育てる。 ④単位時間ごとのまとめや振り返りを行う。 ⑤生活科の学習で、探究的な活動を繰り返し行う。
2 学 年		- 文字(平仮名、片仮名、漢字)を正しく書くことができるようにする。 - 自分の考えを主語、述語、助詞の使い方、促音、撥音、濁音に気を付けて、正しく作文したり、表現したりできるようにする。 - 最後まで、集中して話を聞けるようにすることと、相手に伝わるように、順序立てて話ができるようにする。 - 繰り上がり、繰り下がりのある計算について、10のまとまりを意識した指導を繰り返し、基礎的な力を身に付けられるようにする。 - 掛け算九九が確実に習得できるようにする。 - 言葉や文章の意味を考えながら、文章を読んだり書いたりすることができるようにする。	①話すこと・聞くことのルールを徹底する。 ②自分の書いた文章を読み直す習慣づけをする。 ③具体物の操作を通した問題解決学習を設定する。 ④考えを図や式、文章で表現する活動の時間を確保する。 ⑤デジタルドリル、プリントの活用を通して計算力の向上を図る。
3 学 年	国語 - すすんで読書、音読に楽しんでいる。 - 主語や述語に気を付け、文のつながりを考えて文章を書くことに課題がある。 - 基礎的な漢字の読み書きや読解に課題がある。	- 基礎的な漢字の読み書き、仮名遣いを確実にする。 - 読書の幅を広げ、様々な表現に触れることにより、語彙を増やす。	①小テストによる漢字の定着を図る。 ②音読、日記、スピーチなどの書くことや話すことに慣れさせる時間を設定する。 ③読み聞かせ、ブックトークを通して、読書の幅を広げる。 ④プリントやデジタルドリルを活用する。

	算数 ・基礎的な計算はできるようになってきた。 ・道具を用い、丁寧に作図、測定することに課題がある。 ・文章題の意味をとらえて、正しく立式することに課題がある。	・計算を確実に定着させ、正しく活用できるようにする。 ・道具を適切に用い、正確に作図、測定できるようにする。 ・文章題をじっくり読み、意味をとらえ、正しく立式できるようにする。	⑤計算タイムを設定する。 ⑥道具を適切に用い、丁寧かつ正確に表す機会を設け、習慣付ける。 ⑦問題に下線を引き、ポイントを押さえ、絵や図に表して考える習慣を付ける。
4 学 年	国語 ・主語や述語に気を付けて文章を書くことができる。 ・基礎的な漢字の読み書きにおいて、課題が見られる。 算数 ・数と計算領域において、前学年までの計算を正確に解答することに課題がある。 ・問題文の場面をとらえ、必要な情報を選んで解答することに課題がある。	・基礎的な漢字の読み書きを確実にする。 ・漢字を正しく使って文章を書けるようにする。 ・読書により、語彙を獲得できるようにする。 ・話の中心を意識して、考えながら話したり聞いたりすることができるようにする。 ・基礎的な計算力を高められるよう、四則計算の定着を図る。 ・問題の場面を実生活とつなぎ合わせてとらえ、適切に立式できるようにする。	①漢字小テストを実施する。 ②毎月読み聞かせを実施するなど、読書環境を整備する。 ③朝の時間にスピーチの時間を設ける。 ④週に1回、2文作文を行う。 ⑤デジタルドリルやプリントを活用して計算する力を身に付ける。 ⑥算数的活動の機会を充実させる。
5 学 年	・聞かれていることに即して的確に答えたり、要旨をまとめたりすることに課題がある。 ・基礎的な漢字の読み書きにおいて、課題が見られる。 ・語彙を豊富に用い、適切に漢字を用いて表現することに課題がある。 ・数と計算領域において、前学年までの計算を正確に解答することに課題がある。 ・自分の経験や思いを話すことができる。一方、話の中心を考えて聞いたり、話したりすることに課題がある。	・基礎的な漢字の読み書きを確実にする。 ・漢字を正しく使って文章を書けるようにする。 ・読書により、語彙を獲得できるようにする。また、あらすじなどを伝える練習を通して要約や要旨をまとめることに慣れるようにする。 ・話の中心を意識して考えながら、話したり聞いたりすることができるようにする。 ・基礎的な計算力を高められるよう、四則計算の定着を図る。繰り返し練習するようにする。 ・自分の考えを式や図などを用いて、分かりやすく表現できるようにする。 ・協働的な学習を設定し、自他の良さを認め合い、深め合う経験を積めるようにする。	①漢字小テストを実施する。 ②毎月読み聞かせを実施するなど、読書環境を整備する。 ③デジタルドリルやプリントを活用して基礎・基本の定着を図り、家庭学習においても活用する。 ④協働的に学習する時間を設定する。 ⑤朝の時間にスピーチの時間を設ける。
6 学 年	国語 ・構成を考えて文章を作ったり、文字数に合わせて文章を要約したりすることに慣れてきた。 ・聞かれていることに即して的確に答えたり、要旨をまとめたりすることに課題がある。 ・語彙を豊富に用い、適切に漢字を用いて表現することに課題がある。 ・自分の経験や思いを意欲的に話すことができる。一方、話の中心を考えて聞	国語 ・漢字を正しく使って文章を書けるようにする。 ・読書により、語彙を獲得できるようにする。また、あらすじなどを伝える練習を通して要約や要旨をまとめることに慣れるようにする。 ・話の中心を意識して考えながら、話したり聞いたりすることができるようにする。	①漢字と計算の小テストを実施する。 ②毎月読み聞かせを実施するなど、読書環境を整備する。 ③スピーチの習慣化を図る。 ④デジタルドリルやプリントを活用して基礎・基本の定着を図り、家庭学習においても活用する。 ⑤協働的に学習する時間を設定する。

	いたり、話したりすることに課題がある。 ・自分の考えをもち、自信をもって交流することに課題がある。 算数 ・デジタル教材を活用しながら自分の考えをまとめることができるようになってきた。 ・自分の考えを式や図などを用いて考えを表現したり、まとめたりすることに課題がある。	算数 ・自分の考えを式や図などを用いて、分かりやすく表現できるようにする。 ・計算の基礎基本を定着させるため、繰り返し練習するようにする。 ・協働的な学習を設定し、自他の良さを認め合い、深め合う経験を積めるようにする。	
特別支援		・得意なことや興味・関心のあることを関連付けた教材等を通じて、楽しみながら学べる姿勢を身に付け、自己肯定感を高める。 ・気持ちの切り替えや感情のコントロールが苦手な児童には、視覚化することで、今の感情のレベルを気付かせながら指導を行う。	①視覚的支援を併用しながら指示理解の経験を積ませる。 ②SSTを行いながら、少人数の中で成功体験を積み上げる。